

総合的な学習の時間「産業社会と職業」シラバス

わたしたちの生活は、地域の様々な産業、職業などによって支えられています。国際化が進む現在の日本の産業のしくみや仕事の様子がどのようになっているかを、地域の中での体験活動を通して自ら課題を決めて調べます。

主な活動は？

【情報から学ぶ】(情)

インターネットや新聞などから情報を収集し、産業や職業の現状を把握します。
例) 産業構造、企業の組織、経営のしくみ、職業、求人、職業適性、資格

【人とのかかわりから学ぶ】(人)

産業界や地域の人々との交流を通して学びます。
例) 職業人による講話、ロールプレイによる演習・実習等

【社会から学ぶ】(社)

個人テーマを設定し、職業人インタビュー、職業体験などを通して研究を進め、その成果をまとめます。(研究レポート作成)
例) 「産業社会や職業と自己の関わりに関する研究」

進路とのかかわりは？

- ・ 1学年で作成した進路設計プランを見直し、進路希望を明確にします。
- ・ 職業体験など体験的な学習は、就職や進学の際の面接やAO入試などの場に役立ちます。また、将来、社会人としての生きていくための自覚を高めるきっかけとなります。
- ・ 情報の収集・整理、課題研究のまとめは、就職や進学の作文や小論文に取り組むのに役立ちます。
- ・ 自分で考え、課題を追究し、まとめる学習のスタイルに慣れておくことは、将来、仕事をする際や、大学や専門学校での学問に取り組む際にたいへん役立ちます。

1 単位数・履修学年(学科・類型・コース)など

単位数	学年	学科・類型・コース	区分		
1	2	文型	必修	選択必修	選択

2 主な教材

テキスト	副教材(購入が必要な教材)
産業と人間(本校自作テキスト)	進路ノート 社

3 学習のねらい

インターネットや新聞などから、社会、産業、職業に関する情報を収集・整理し、自分なりの意見をまとめる方法を身につけます。
生活と産業との関わりから産業社会全般についての基礎的な理解を深め、働くことの意義について考え、職業意識を高めます。
現代における産業の発展のようすや、これからの産業の動向に目を向けながら、進路選択について考え、進路意識を高めます。

4 評価について

教科の学習のように数値化した成績は示しませんが、学習活動のまとめりにアドバイスカードを渡しますので学習を進める際の参考にしてください。
ワークシートや研究レポートはファイルにまとめ、それぞれのまとめりに学習活動の振り返りを行い、自己評価します。グループごとの研究発表では、生徒同士の相互評価も行います。

5 学習計画

学習を進める際に重視してほしいこと

- ・産業社会や職業に対して、関心や課題意識をもち、課題追究のためのテーマを探す。
- ・友だち同士でアイデアや意見を出し合っ、課題に取り組む。
- ・さまざまな職業について理解を深めたり、そのよさを探したりする。
- ・将来の生き方について、自分なりの考えを表現したりまとめたりする。
- ・学習の過程で気づいたことや学んだことを進路選択や決定に生かす。

学期	月	学習の内容・学習活動		学習活動のアドバイス	
		学習活動のテーマ (ワークシート、研究レポート)	学習の場面・方法 (情報・人・社会)		
1 学 期	4 5 6	【学び方のガイダンス】 (1) オリエンテーション ・「産業や職業の今を知ろう」 ・「世の中のことを調べる方法を身につけよう」 (ワークシート1)	← インターネット (情) ガイダンス(担任)	社会で起きていることが、身近な産業や職業とどのような関わりをもつか、考えや意見をまとめ発表します。 それぞれの立場やとらえ方の違いに気づき、意見を出し合います。 (アドバイスカード1 生徒)	
		(2) オリエンテーション ・講話「産業と職業」 ・ロールプレイ「産業と職業」 ・経営者、労働者、消費者の立場での話し合い (ワークシート2)	← 地元の小売店の経営者 (人) 講話の司会(生徒) 司会・進行(担任)		
		(自己評価カード1)	ガイダンスやアドバイス(担任)		
	2 学 期	7 9 10	【個人の研究テーマの決定】 (3) 個人の研究テーマの選定 ・職業レディネステスト ・「自分が注目した職業を3つあげよう」 ・「自分の注目した企業についてリサーチしよう」 (ワークシート3) ・個人の研究テーマ設定 (研究計画カード)	← インターネット (情) ・資料 ← インターネット (情) ガイダンス(担任)	自分の研究テーマに合った職業や産業を選びます。 自分の注目した業界、企業の情報を収集し、資料にまとめます。 研究テーマを決めたり、計画を立てたりします。 講話や実習で気づいたことをメモにまとめます。 職業体験をお願いする企業をリストアップします。 (アドバイスカード2 生徒)
			(4) 社会人に学ぶ ・講話「各業界で働く職業人」 ・実習「社会人としてのマナー講座」 (ワークシート4)	← 企業で働く卒業生 企業の研修担当者 (人) 司会(生徒) 進行(担任)	
			(自己評価カード2)	ガイダンスやアドバイス(担任)	
11	【体験学習と研究のまとめ】 (6) 研究グループごとの職業体験 ・模擬実習、計画書作成 ・聞き取り調査項目の検討 ・あいさつ状の作成 事前の職場訪問、聞き取り ・職業体験 (職業体験記録カード) ・事業所への報告書・礼状作成	ガイダンス(担任) ← 各事業所 (人) (社) ガイダンス(各事業所担当者)	自分の意見やアイデアを記録カードに書きとめ、それらを計画や実施に生かします。 体験学習を通して、気づいたことも記録カードにまとめます。		

学 期	12	(7) クラスの研究発表会 ・研究レポート作成 ・グループごとの発表 ・個人ごとの学習の振り返り (研究レポート提出) (自己評価カード3) * 相互評価を含む ・クラス代表グループの選出	生徒による司会 生徒による全体講評	発表しやすいように研究レポートをまとめます。 グループ内で、お互いの発表や取り組みのよい点を評価します。
	1	(8) 学年の研究発表会	ガイダンスやアドバイス (担任)	(アドバイスカード3 生徒)
	3	【将来設計・進路設計】 (9) 将来設計 ・「10年後の私と職業」 (ワークシート5)		これまでの学習を振り返りながら進路決定に向けて、夢や希望を表現したり、達成に向けたプランを作成します。
	2	(10) 進路設計(1年次の修正) ・「進路と学習の計画」 (ワークシート6) (自己評価カード4)	ガイダンスやアドバイス (担任)	(アドバイスカード4 生徒)